

\\ご当地マドンナとゆく\\

# 日本全国 ゆるり アウトドア旅

第12回 栃木県

## スノーシューハイクで 雪見温泉へ!

全国的な雪不足に嘆いているスノーラバーのみなさん! そんな中でも雪の中で遊べる場所がありますよ~。今回はゆる〜く雪遊びをしたいという願いを叶える旅。スノーシューで秘湯温泉を目指す夢のアクティビティです。

今回の旅先は……  
自然と温泉、SLも走る日光・鬼怒川!



日光東照宮や鬼怒川温泉など、観光スポットが盛りだくさんの日光・鬼怒川エリアは、都内からのアクセス抜群の好立地。下今市駅から鬼怒川温泉駅までをつなぐSL大樹に乗れば、旅気分が一気に盛り上がりますよ!

キャンプは好きだ  
けどスノーシューは  
初体験でドキドキ!

田村 愛さん

ミスきぬがわ5期生として活動中。FM栃木(レディオベリー)のパーソナリティとしてさまざまな番組を担当している。

今回のマドンナ

冬のアウトドアといえばスノーボードやスキーが定番だけれど、実はただのんびり歩くだけでも雪は楽しいって知ってますか? おすすめはたっぷり雪が積もった平原を歩くスノーシューハイク。特別な技術はいらず、子供連れでも安全に楽しめるアクティビティなのだ。

今回旅する日光・鬼怒川は、都内から電車で2時間半程度とアクセス至便なうえ、雪がたっぷり積もるエリア。さらに温泉ワンダーランドということで、スノーハイクを楽しみながらゴールを秘湯温泉に設定。「歩いて秘湯を目指す」という夢の遊びを楽しむことにした。

鬼怒川温泉駅からバスに揺られること1時間半。登山口のある女夫湯温泉が近づくと、周囲の山は白銀の世界に。バスを降りると、キンと冷えた空気が心地いい。ここから目指す温泉・加仁湯までは送迎バスが出ているが、林道に沿って整備された奥鬼怒遊歩道を歩いて行くことも可能。途中には八丁の湯という素晴らしい温泉があるので、温泉ポッピングをしながらスノーハイクを楽しむ人も多い。

さっそく防寒着を着込んで歩き始めるが、マドンナの田村愛さんは初の雪山歩き。ちよつとした傾斜でも滑ってしまふ。「雪の上を歩くと、難しいんですね……。でも転んでも痛く



# 加仁湯

スノーシューなら  
新雪でも歩ける！

加仁湯の談話室は森の動物たちの館！ 野天風呂の湯は乳白色で、入ったそばからお肌がツルツルに。宿の周囲にもスノーシューを楽しめるスポットがあり、加仁湯でスノーシューのレンタルもできる。



## 気持ちのいいブナ林の雪原でお昼寝～

雪遊びって、  
自然と一体化できる  
最高の体験です！

### 旅の立ち寄りMEMO

#### 泊まる



#### 加仁湯

5本の源泉を24時間楽しめる秘境温泉。女夫漕から無料送迎バスあり(時間は要確認)。③1泊2食1万5000円～(2名利用時の1名分) ④栃木県日光市川俣871

#### 食べる



#### とちおとめサンド

栃木といえば、とちおとめ！ 鬼怒川温泉駅内にあるカフェ「BENTO CAFE KODAMA」には、とちおとめをたっぷりクリームで挟んだフルーツサンドが。行動食にもおすすめ。

#### 遊ぶ



#### 七福邪鬼めぐり

鬼怒川温泉エリアに設置されている「鬼怒太」と「鬼怒子」の銅像は知る人ぞ知るパワースポット。邪気を払い福を招く縁起物で、7体全部をめぐるといいことがあるとか!?

#### おみやげ



#### ろっくbaum

「バウムクーヘン工房 はちや」の「ろっくbaum」は外はカリッ、中はもちり。鬼怒川渓谷の造形美をイメージしているそう。④栃木県日光市鬼怒川温泉大原1396-10



加仁湯  
<https://www.naf.co.jp/kaniyu/>

ないから楽しいです！」  
登山道の雪が深くなったところ  
でスノーシューを装着。  
「なんですかこの道具！全然滑らないし、雪の上をアメンボみたいに歩いて最高です！」  
さすが現代版カンジキともいえるスノーシュー。ふかふかの新雪の上でも楽々歩いて、田村さんもだんだんスノーハイクの面白さにハマってきたみたい。  
加仁湯までは約3・6kmほどの道のり。のんびり歩いて2時間ほどで、初スノーハイクにはちょうどいい距離だった。  
そして旅の最大のご褒美が加仁湯の誇る温泉。なんと源泉が5本もあり、泉質も違う。大きな野天風呂に加えて、5種類の湯を入り比べできる引き湯コーナーもあって、日帰りでは楽しみきれないほど。雪と思う存分遊び、冷えた体を雪見温泉で温める。この贅沢こそが冬のアウトドアの醍醐味。あ、雪と温泉のある国に生まれてよかった！雪がたっぷりあるうちにぜひ行ってみてくださいね。

# 保温力抜群の 山専用ボトルがあれば スノーシュー中でも ポカポカ!

気温が氷点下にもなる冬の日光・鬼怒川。歩いている間は  
そうでもないけれど、休憩すると体はどんどん冷えてい  
く。保温性が高く、長時間飲み物の温度をキープしてくれ  
る山専用ボトルがあれば、寒い日でも温かいドリンクを  
飲めて心強い。冬山での強い味方です!

## 雪山でひととき映える 鮮やかなレッドが登場



ステンレスボトル／FFX-901  
6500円

山の過酷な環境を想定して作られた「山専用」ボトル。6時間後でも80度C以上をキープする高い保温性を誇り、冬山でのアクティビティに最適。計3色の新色には、雪山で映えるマッドレッドも仲間入り。

## アウトドアでも頼れる タフな設計がうれしい



ボトル底には落としたりしたときの衝撃をやわらげるシリコン製のソコカバーが。底面が傷つくの防止してくれる。取りはずし可能なので、シーンによって使い分けられるのがいい。



雪の中で飲む  
ホットドリンクは  
ありがたい〜!



## 行動中でも ストレスなく 使える親切な設計

コップ部分はグリップ性の高い素材を使用し、操作性を向上。グローブを着けたままでも滑らない。ボディーにはシリコン製のリングが装着しており、こちらも滑り止め効果大。雪山でも難なく使える。